

にかほ市学校環境適正化基本計画（案）に関する意見交換会

開催結果

日 時	会 場	出席者	保護者の参加
令和5年11月20日 18:00～18:50	仁賀保中学校 ランチルーム	9名	—
令和5年11月22日 18:00～18:47	仁賀保勤労青少年ホーム 音楽ホール	12名	—
令和5年11月27日 18:00～19:11	金浦公民館 軽運動室	12名	1
令和5年11月28日 18:00～18:47	象潟中学校 ランチルーム	13名	5

各会場における主な意見・質問等

【11/20 会場：仁賀保中学校（院内小学校区）】

①少子化の現状から、小学校はみんな納得し、比較的スムーズにいくと思う。中学校の統合は納得のいく説明をしないと大変になると思う。

中学校の統合に関しては、現段階で統合位置の決定をしていないので、決めるまでの間に様々な角度からの情報収集に努め、経緯や根拠をきちんと明示できるようにしたい。

②空き校舎の在り方も方針を明確にして、一緒に説明した方がいい。

閉校後の校舎の利活用については今後検討していく必要があるが、院内小学校校舎は築60年ということから、閉校後の活用は難しいものと考えている。

③国による学級定員数の減少があれば、適正規模の基準を変更するのか。

学級の標準規模がさらに下がった場合には適正規模の見直しをすることにはなるが、現段階では出生数の状況も含め小学校では2学級を適正規模としている。

④通学距離の増加から通学時間が掛かり増しとなるので、家庭学習等の時間に影響の無いように、学びを優先にした計画にしてほしい。

小学校の統合で通学距離が最も遠くなるのは、釜ヶ台集落で16kmを想定しており、時間的にはおよそ30分程度とみている。統合後の通学手段、距離については重要な要素であり、可能な限り公平になるよう検討する。

⑤平沢小への統合は、駐車場の問題があるので早めに準備と周知をしてほしい。

登下校時間帯の送迎車の混雑ぶりは承知している。安全面をまずは考えなければならず、統合に伴うスクールバス発着場などの整備は不可欠と考えている。また、送迎ルールも含め統合準備委員会等で検討する。

⑥立地場所として津波被害が心配である。

平成 26 年策定の「津波避難地図」で最大津波高は 10.14mとされている。平沢小学校の 3 階部分が 18.4m、望海公園が 18.2mで津波を想定した避難訓練も実施している。建物の安全性も大事だが、災害が発生したときの対応に関するいわゆる防災教育が重要だと考えている。

⑦義務教育学校の設置は検討しないのか。

現在は小規模校の解消を目指し、適正規模を確保するための計画を進めている。旧町の範囲内で一貫校としても小規模の課題は解消されない。

小学校 3 校、中学校 1 校という計画だが、将来的には小学校 1 校、中学校 1 校となることも考えられる。このときには小中一貫校、若しくは、義務教育学校の検討も必要になると考えている。

【11/22 会場：仁賀保勤労青少年ホーム（平沢小学校区）】

①中学校の位置は、震災・津波浸水も考慮に入れて検討すべき。

様々な角度から検討が必要と考えているので、そのような視点での検討も行っていくつもりである。

②中学校について、1 学年 2 学級で専門教科の先生が配置されるのであれば、適正基準を 3 学級以上としなくても、授業の持ち方を工夫することでクリアできるのでは。

1 学年 3 学級としたのは適正規模として目指す目標であり、そうすることで専門教科の先生を確保しやすくなるということ。今現在 2 学級ある学校でも専門の先生がいなくて、他の学校から通ってもらっているケースもあり、そういったことを解消したい。

【11/27 会場：金浦公民館（金浦小学校区）】

①学級編成について、小中それぞれ2学級・3学級を適正規模としているが、
どういう根拠でこの項目を選んでいるのか。

アンケート結果によれば、小学校・中学校ともに「クラス替えがあり、たくさんの友達ができるなど環境の変化を経験できる」「たくさんの先生や友達の考えに触れることができる」という項目が多く選択されている。

②金浦小・中は適正基準から下回る状態が続くが、統合までの対応をどう考えているか。

適正規模に至るまでは、若者100人会議との連携授業や、オンラインで他校の子どもたちと交流するなど、少人数で何ができるかプラス思考で考えたい。

【11/28 会場：象潟中学校（象潟小学校区）】

①統合の計画がでていますが、平等にできるのか。統合すること自体はいいことだと思うが、今現在象潟、上郷、上浜で交通の便に格差がある。

今現在の課題については、コミュニティバス担当部署と情報を共有させてもらって検討していく。

完全に平等にするということは無理だが、できる限り平等に近づけるよう努力をする。

②今日の会に参加して参加者の少なさに驚いた。小中学校の統合にあてはまる子どもたちの親がこの会のことを知っていたのかどうか、PDCAやアンケートなどで把握、アクションすることはあるか。

今回の開催を通じて参加人数が多くなかったのはその通り。今後学校や保育園、幼稚園を通じて計画案の存在や意見交換会の開催などの再度の周知を考えている。

その他意見

①部活動の地域移行も念頭に置く必要がある。

②計画にはスポーツ少年団や部活動についての考えもあっていいと思う。

③金浦小と金浦中は、ずっと適正基準を満たしていない状況であり、中学校については8年後でなくもっと前に統合した方がいいのではないかと。

④中学校の統合は1校ではなく、2校を維持としてもいいのではないかと。

⑤金浦中は令和12年から20人を割り込む見込みで、スポーツや部活などのことも考えると、生徒のモチベーションの確保・維持が気になる。

中学校を一つにしても、令和15年以降は1学年100人を下回るようなのでこのような動きがあつてよかった。

⑥統合には、距離の問題、学区の問題がでてくる。例えば小出から平沢に行くのと、院内から平沢に行くのでは距離が違う。金浦の方が近い。

⑦統合をするなら早く全部統合して一つにするくらいのスピード感を持ってやらないといけないと思う。

⑧人口減少を止めるためにも、Uターンできる環境、教育のやり方を考え中高一貫校や全国から留学生を集めるなども検討してほしい。

「探検する学校、探検するまち、探検心を養う」教育を。